

# 1. 千代田区主催協議会用発言要旨（四番町●●●）

## 陳情に関する意見

---

- 番町に小中高と過ごし、職場へもお堀端を歩いて通って、計35年の住民。番町を古里と思う一人として発言。
- 僅か3か月弱前、日テレ再開発計画を知る。150Mの超高層ビルは青天の霹靂。考えただけで直感的に違和感を覚える。
- 二回の協議会傍聴の印象；
  - ✓ 町会長は街を良く知っているのは疑いない。しかし町会長だけでなく、この地域を良く知り、古里と思っているマンション住民がたくさんいる。にも拘らず、その意見が反映される仕組みになっていない。
  - ✓ 区への対応が、はぐらかすことに終始し、住民の要望を真摯に受け止める気はないのでは？ 国会答弁のほうはまだマシ。区長と開発事業者他が合意さえすれば住民とは無関係に計画が進むという印象を住民に与える。
- これはいけないと思い、先ずは、どうしたら計画を住民皆に知らせ、区長はじめ関係者に声を届けられるか？それが陳情です。
- 陳情活動をしていると、圧倒的多数の住民が、計画は知らなかった、それはとても問題だ、という反応。皆憤慨して今や陳情は1200を超えた。
- 陳情の主眼は他の地元住民の意見を聞いて下さいというもの。地区計画にも、細かなルールについて、地区の皆さんで話し合いながら決めていくことができる都市計画法に基づく制度とある。
- 何も再開発自体に反対している訳では無い。心配している。だから一緒になって考えて行きたいとの気持ち。
- 中央政府での審議会は随分経験したが、国民の利害に直接関係する事案については十分時間を掛ける。国民への説明会も何回も開く。

- 千代田区は、基本構想（素案）について、ホームページに掲載する以外には、住民向けに積極的な広報活動は行わず、説明会も開催していない。内容が住民に周知され、意見が適切に反映されて基本構想（素案）が作られている訳では無い。従って先の協議会で本件が継続審議になったのは当たり前。
- 区は半年かけて議論した、町会長は2年以上かけて議論した、という。千代田区を良くしようとの思いは皆同じ。努力も感謝。しかし、現実の住民の反応は違う。殆ど知らないというもの。
- 要望は一つ；「沿道まちづくり構想」を、区の住民の多数を占めるマンション住民を入れて、又専門家の意見も聞いて、街づくり協議会の場で、そして区議会の場でも、もっともっと時間を掛けて議論してもらいたい。この陳情審査はとても有り難い。
- 先回の協議会から守る会の推薦で2人、女子学院とグロービスが関係者として入った。これは率直に評価。しかし依然として正式の委員でなく関係者である。委員として正式に入れて下さい。天下の千代田区が、皆が見ている昨今の民主主義の中で、この様な排他的、閉鎖的なやり方をするのはいけません。この体質自体を改め、もっと住民を包み込んでいく INCLUSIVE なやり方が必要。
- 仲良し内閣では国民から遊離する。首相ですら反省して改めた。

## 地区計画に関する意見

---

- 時代と共に街の姿が変容するのは当然；  
いつ、どう変容するかが問題；
- 千代田区都市計画マスタープランでは番町について・・・住宅を中心として教育施設、商業・業務施設が調和・共存した街、となっている。番町がこの標準から落ちれば、千代田区にマスタープラン上住宅地は無くなる。
- 四番町地区計画では「落ち着いた佇まい、歴史性を持ち、住宅を中心とし、教育施設、商業・業務施設が共存する、緑に囲まれた良好な市街地」→ 高々10年前に皆で決めたものだが、これが理想と思って住み着いてきた。これを変えようとは思わない。

- この10年間に地区計画を変える必要のある状況変化があったのか？ならばその理由を挙げてほしい。

「盆踊り広場」「バリアーフリー」「緑地帯などによる空間整備」「賑わいの創出」等が街づくり基本構想に入っているが、

- ✓ バリアーフリーは日テレが商業目的ビルを建てれば容積率を増すために自発的にやる話。
  - ✓ 盆踊り広場のために残りの363日喧騒の中で生きてはいけない、赤坂・六本木のような賑わいは要らない。
  - ✓ 空間整備は既存の地区計画で十分対応可能。高さ制限を取り払い、建物が高くなれば、当然公開空地も広くなる。と、言うか順序が逆。東大の研究では、超高層を立てた場合と既存の地区計画で立てた場合とを比較しても、精々40%と30%の差。公開空地を作るためには容積率緩和、高さ制限緩和が必要と言うのはFake News.
  - ✓ 抑々、既存の地区計画でどの程度公開空地が取れるのか専門家に検討させた上で言っているのか？デベロッパーでなく、信用できる専門家に調べさせたら如何か？（根拠薄弱な議論で民心を惑わさないでほしい。）
  - ✓ 因みに、マンション建て替えに当たっても既存の地区計画の範囲内でやって頂きたい。日テレと同じような問題が出るからです。
- 逆にこういう事は検討されたのでしょうか？；
  - ✓ 幅員10mの日テレ通りで、地区計画が変更され、高さ制限が緩和された場合に、どの程度の交通渋滞になるか？側道の交通量は変わらないのか？それは学童や子供連れ、車椅子にとって安全なのか？
  - ✓ 麴町駅の乗降客数はどうなり、現在の駅の能力をどう変えるのか？
  - ✓ 日テレビルが先鞭をつけ次々超高層ビルが出来た時の日照障害は？

- ✓ こういう事を専門家に検討させその結果を協議会で検討すべし。あるいは専門家を交えて、協議会、区議会の場で議論すべきである。素案に潜む真実をさらけ出すことが重要。
- ✓ 区は素案のままでパブコメに付そうとしているが、抽象的にバラ色だけを塗った絵柄でどうして的確なコメントが市民から得られるか？くすんだ色の具体的問題点を洗い出し、バラ色の絵柄と並んで住民に諮るのなら住民も比較衡量することが出来るので、パブコメも検討しうる。
- 日テレが商業ビルを経営すること自体は結構。その為に、落ち着いた、住宅街を犠牲にできない。開発に伴う道路及び駅施設等環境への負荷の十分な検討を行うことが不可欠。「駅に入れば武蔵小杉、道路出れば鎌倉」にしたくない。住宅地が主であり、商業施設等はそれと共存する範囲で設けることが基本。その為には既存の地区計画の範囲内でお願いしたい。
- ✓ 「鹿を追うものは山を見ず」、にならぬよう、長期的視野に立ち皆で考えて戴きたい。